

平成22年10月8日

# 貧酸素水塊速報 (2010年)

〔発行〕 千葉県水産総合研究センター  
神奈川水産技術センター

千葉県農林水産技術会議  
内湾底びき網研究会連合会

〔協力〕 千葉県環境研究センター  
第三管区海上保安本部  
国立環境研究所

東京都環境局  
千葉灯標モニタリングポスト

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成22年10月5日観測結果

9月中旬から断続的に起きた青潮および9月25日の台風により、貧酸素水塊の規模は急減し、ほぼ平年並みとなりました(図3)。しかし、湾奥(東京灯標～幕張)では底層水がほぼ無酸素化しており、図1に示す の観測点では硫黄臭も認められました。湾奥では、依然として青潮の危険性が残っていますので注意が必要です。

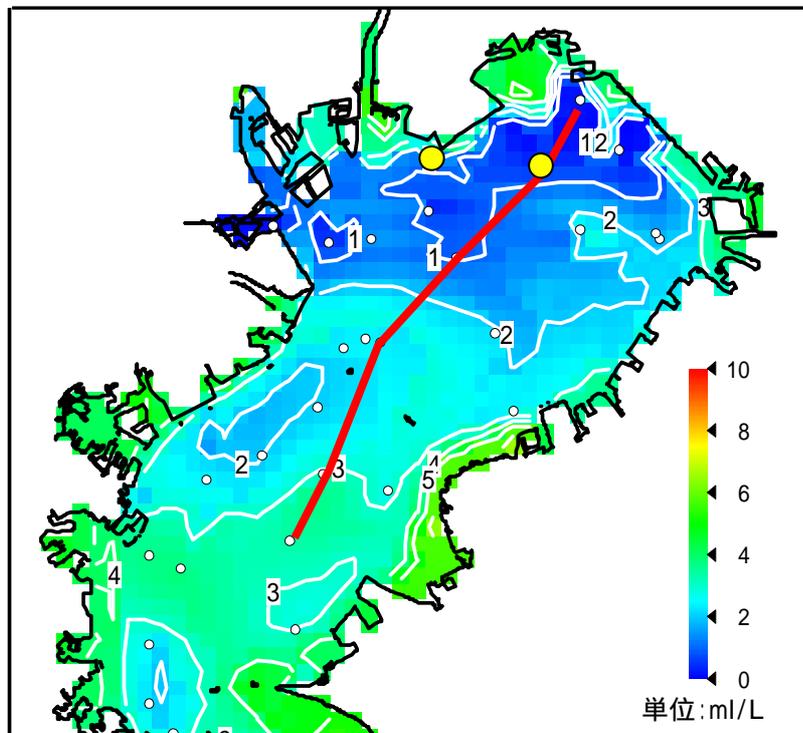


図1 底層の溶存酸素量の分布(赤線は縦断ライン)

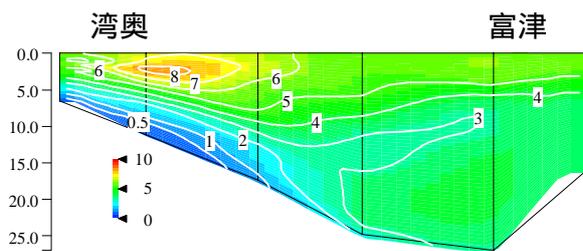


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

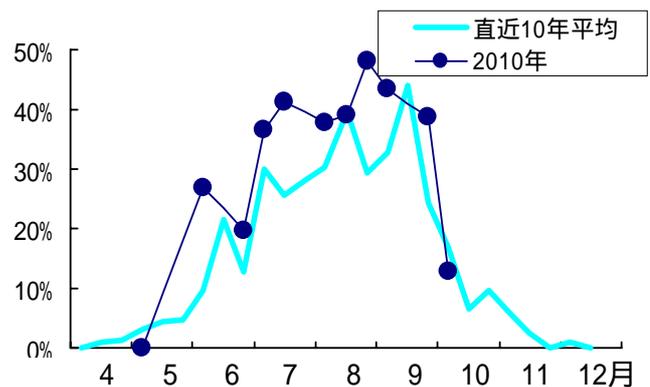


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)